

第5学年-Unit5 単元名 She can run fast. He can jump high. できること (3/5時間)

1. 単元目標

- ・第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。(コミュニケーションへの意欲・関心・態度)
- ・第三者について、できることやできないことを尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。また、小文字を読むことに慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)
- ・言語や人、それぞれに違いがあることに気付く。(言語や文化に関する気付き)

2. 表現・言語材料

○Can you (sing well)? Yes, I can./ No, I can't. [ I/ You/ He/ She][ can/ can't] (sing well).

○動作(play[soccer/ badminton/ table tennis/ volleyball/ shogi/ kendama/ the recorder/ the piano], judo], ride a [bicycle/ a unicycle], swim, skate, ski, cook, run fast, jump high, sing well), can, can't, he,

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする</li> <li>○Let's Chant:(p.35)</li> <li>・リズムに合わせてチャンツを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。</li> <li>・Can you [run fast]?の[ ]の部分でplay baseballなどp.37の動詞等に自由に変えさせて行ってもよい。</li> </ul> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">できるかどうかたずねあおう。</p>	デジタル教材
21分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Activity 2(p.37)</li> <li>・室内を歩いて回り、友達に誌面にあることについてできるかどうかを尋ね、できる場合は、イラストの下に名前を書いてもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞カードを使って、Can you～? Yes, I can./No, I can't.のやりとりをさせる。リアクションを付けて答えさせる。(Oh, really? I see. Wow! Great.など。)また、ジェスチャーを付けて聞いたり、答えさせる。</li> <li>・動詞の表現がスムーズに言えない場合は、事前にポイントインゲームなどを行っておくとよい。</li> <li>・教師のモデルを真似して、近所の友だちとCan you～?のやりとりの練習をさせる。その時もリアクションやジェスチャーを付けさせる。</li> <li>・一通り表現に慣れてきたら、( )に友だちの名前を書き、できるかできないか予想させる。予想ができた児童から立ち、インタビューさせていく。</li> <li>*グループごとにインタビューをスタートさせる表現を1段目から、2段目からと変えると時間内にいろいろな表現に触れることができる。</li> </ul>	
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Activityの振り返り</li> <li>・Activity 2の結果を発表する。</li> </ul>	<p>例) Asuka can play table tennis. Kenta can swim well. Yuta can play soccer.などのように、結果を発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と同じだった人、意外だった人などを3人選んで、発表させる。聞き手にはリアクションするように指示する。児童の実態に合わせて、I can't play teble tennis, but Asuka can play teble tennis.や、I can swim well and Kenta can swim well, too.と自分のことも一緒に言わせてみてよい。</li> <li>・ふだん母語ではなかなかやり取りしないような内容を、外国語ではあえて行ったり、ふだん話さない人ともインタビューでやり取りをしたりすることで、言葉で人とやりとりする楽しさを十分味わわせたい。</li> </ul> <p>◎第三者についてできることやできないことなどを紹介し合っている。(外国語への慣れ親しみ)〈行動観察、振り返りカード〉</p>	
4分	○Sounds and Letters "v"	<p>T: Let's play "Finding words.(単語探し)"</p> <p>Find any words starting with /v / from the textbook within twenty seconds. (20秒以内にテキストから「v」で始まる単語を見つけましょう。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者と児童全員で行う。制限時間を短くしていくなどするとよい。</li> <li>・見つけた単語の確認をし書く。(児童が発表した単語を黒板に書く。)</li> </ul>	ワークシート (HF Plus)
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、記入する。挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに照らして児童を評価する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	振り返りカード